

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第67期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	中野冷機株式会社
【英訳名】	NAKANO REFRIGERATORS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中野 順造
【本店の所在の場所】	東京都港区芝浦二丁目15番4号
【電話番号】	東京（03）3455-1311（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門長 長谷川 学
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝浦二丁目15番4号
【電話番号】	東京（03）3455-1311（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門長 長谷川 学
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第2四半期連結 累計期間	第67期 第2四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 1月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	12,939,834	19,816,161	28,568,818
経常利益(千円)	1,216,985	3,125,663	2,670,768
四半期(当期)純利益(千円)	680,964	1,796,739	1,424,081
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	713,578	1,906,431	1,482,421
純資産額(千円)	16,336,451	17,862,322	17,105,294
総資産額(千円)	27,190,648	34,910,310	30,576,282
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	86.82	232.19	181.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	56.3	48.2	52.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	671,614	2,670,541	3,421,513
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	43,214	271,155	474,214
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	168,168	1,148,923	175,513
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	8,204,118	11,772,482	10,512,343

回次	第66期 第2四半期連結 会計期間	第67期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	53.37	129.67

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第66期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)におけるわが国経済は、昨年発生した東日本大震災の復興需要等を背景に、景気の持ち直しの動きが続いているものの、依然として欧州における債務危機等による海外景気の低迷、円高の長期化等により、不透明な状況が続きました。

当社グループの主要顧客である食品流通業界におきましても、依然として消費者の低価格志向や企業間の激しい価格競争が続いており、厳しい経営が続きました。そのようななか、一部には積極的に店舗の改装、新規出店、節電対策等の設備投資を行う顧客もみられ、またコンビニエンス・ストアの中には品揃えの強化・拡充を図るため積極的に改装等の設備投資を行う顧客もみられました。

このようななか、当社グループは顧客ニーズへ柔軟でよりスピーディーに対応できるよう営業・生産体制を強化し、同時に、昨年に引き続き節電の提案などの営業活動を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、コンビニエンス・ストア向けを中心として全般的に売上が好調に推移し、予想を上回る大幅な増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は198億16百万円(前年同期比68億76百万円、53.1%増)、経常利益は31億25百万円(前年同期比19億8百万円、156.8%増)、四半期純利益は17億96百万円(前年同期比11億15百万円、163.9%増)となりました。

なお、当社グループの事業は食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケース等の製造・販売並びにこれらの付随業務からなる単一セグメントであるため、セグメント情報の記載をしておりませんが、所在地別の業績の概況は次のとおりであります。

日本

国内の売上高は、コンビニエンス・ストア、スーパーマーケット向けが好調に推移し、また物流センター等大型物件の売上も堅調だった結果、185億59百万円(前年同期比66億21百万円、55.5%増)となり、営業利益は29億94百万円(前年同期比18億65百万円、165.1%増)となりました。

中国

中国では、輸出は引き続き厳しい状況が続いていますが、中国国内向け販売はスーパーマーケットの出店・改装、コンビニエンス・ストアの出店などにより好調に推移し増収増益になりました。その結果、売上高は13億2百万円(前年同期比2億66百万円、25.7%増)となり、営業利益は98百万円(前年同期比37百万円、62.1%増)となりました。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は349億10百万円(前連結会計年度末は305億76百万円)となりました。流動資産は302億54百万円(前連結会計年度末は259億40百万円)となり、固定資産は46億56百万円(前連結会計年度末は46億35百万円)となりました。流動資産が大きく増加した主な要因は、現金及び預金が前連結会計年度末比15億15百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比20億43百万円増加したことによります。

一方、負債の部は170億47百万円(前連結会計年度末は134億70百万円)となりました。流動負債は139億6百万円(前連結会計年度末は103億41百万円)となり、固定負債は、31億41百万円(前連結会計年度末は31億29百万円)となりました。流動負債が大きく増加した主な要因は、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末比26億39百万円増加したことによります。

純資産の部は178億62百万円(前連結会計年度末は171億5百万円)となりました。この結果、自己資本比率は、48.2%(前連結会計年度末は52.6%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、12億60百万円増加し、117億72百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金は、26億70百万円の増加（前年同四半期は6億71百万円の増加）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益31億24百万円、仕入債務の増加26億27百万円などがあったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金は、2億71百万円の減少（前年同四半期は43百万円の減少）となりました。

この主な要因は、定期預金の払戻に対し、預入が2億50百万円多かったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金は、11億48百万円の減少（前年同四半期は1億68百万円の減少）となりました。

この要因は、自己株式の取得による支出が9億40百万円、配当金の支払が1億56百万円あったためであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は42百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（5）生産、受注及び販売実績

当第2四半期連結累計期間において、コンビニエンス・ストア向けを中心として全般的に売上が好調に推移した結果、生産及び販売実績が著しく増加しております。

ショーケース部門の生産実績は98億79百万円（前年同期比61.9%増）、販売実績は94億40百万円（前年同期比65.4%増）となりました。

冷凍機部門の生産実績は22億3百万円（前年同期比62.4%増）、販売実績は20億72百万円（前年同期比51.8%増）となりました。

工事・その他部門の生産実績は84億92百万円（前年同期比45.6%増）、販売実績は83億3百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

なお、金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,954,000	8,954,000	大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数100株
計	8,954,000	8,954,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	8,954,000	-	822,650	-	522,058

(6)【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
中野興産株式会社	東京都港区芝浦2-15-4	2,143	23.94
中野冷機株式会社	東京都港区芝浦2-15-4	1,742	19.46
中野冷機従業員持株会	東京都港区芝浦2-15-4	432	4.84
中野 誠子	東京都目黒区	390	4.36
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1 - 1 - 5	357	3.99
中野 由貴子	東京都目黒区	263	2.95
中野冷機取引先持株会	東京都港区芝浦2-15-4	198	2.21
須藤 勝美	神奈川県藤沢市	191	2.14
須藤 静子	神奈川県藤沢市	128	1.44
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1-26-1	125	1.40
計	-	5,974	66.72

(注) 中野冷機株式会社の所有株式数1,742千株は自己株式であり、会社法第308条第2項により議決権は有しておりません。

(7) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,742,100	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,205,400	72,054	同上
単元未満株式	普通株式 6,500	-	-
発行済株式総数	8,954,000	-	-
総株主の議決権	-	72,054	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
中野冷機株式会社	東京都港区芝浦二丁目15番4号	1,742,100	-	1,742,100	19.46
計	-	1,742,100	-	1,742,100	19.46

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,583,414	19,098,937
受取手形及び売掛金	1 5,563,885	1 7,607,460
電子記録債権	-	298,735
商品及び製品	1,076,748	1,364,579
仕掛品	332,806	587,502
原材料及び貯蔵品	821,014	889,755
繰延税金資産	285,092	287,215
その他	284,992	131,885
貸倒引当金	7,109	11,843
流動資産合計	25,940,843	30,254,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,748,477	3,761,386
減価償却累計額	2,768,171	2,836,865
建物及び構築物(純額)	980,305	924,520
機械装置及び運搬具	2,270,324	2,399,112
減価償却累計額	1,907,412	1,961,464
機械装置及び運搬具(純額)	362,911	437,648
土地	1,115,946	1,106,654
建設仮勘定	14,329	439
その他	646,365	648,948
減価償却累計額	605,687	612,095
その他(純額)	40,678	36,853
有形固定資産合計	2,514,171	2,506,116
無形固定資産		
のれん	7,511	5,007
土地使用権	221,882	222,307
その他	17,863	14,156
無形固定資産合計	247,257	241,471
投資その他の資産		
投資有価証券	1,041,012	1,078,825
長期貸付金	7,381	6,628
長期前払費用	1,880	1,640
繰延税金資産	753,492	744,486
その他	143,192	129,507
貸倒引当金	72,947	52,592
投資その他の資産合計	1,874,010	1,908,494
固定資産合計	4,635,438	4,656,082
資産合計	30,576,282	34,910,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 7,361,247	1 10,000,842
短期借入金	250,000	250,000
未払費用	779,798	1,280,760
未払法人税等	782,988	1,281,690
未払消費税等	111,770	143,093
賞与引当金	77,131	109,711
製品保証引当金	393,681	429,820
その他	584,654	411,021
流動負債合計	10,341,271	13,906,941
固定負債		
繰延税金負債	4,531	4,531
退職給付引当金	2,479,344	2,507,596
役員退職慰労引当金	252,179	248,075
負ののれん	1,826	913
その他	391,833	379,930
固定負債合計	3,129,716	3,141,046
負債合計	13,470,987	17,047,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,650	822,650
資本剰余金	522,058	522,058
利益剰余金	15,263,432	16,903,299
自己株式	675,181	1,615,972
株主資本合計	15,932,960	16,632,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,569	211,790
為替換算調整勘定	52,084	30,455
その他の包括利益累計額合計	136,485	181,335
少数株主持分	1,035,848	1,048,951
純資産合計	17,105,294	17,862,322
負債純資産合計	30,576,282	34,910,310

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	12,939,834	19,816,161
売上原価	10,619,788	15,499,880
売上総利益	2,320,046	4,316,280
販売費及び一般管理費	1,130,920	1,223,315
営業利益	1,189,126	3,092,964
営業外収益		
受取利息	12,724	13,983
受取配当金	11,809	12,363
仕入割引	3,280	3,188
受取地代家賃	1,623	1,383
負ののれん償却額	913	913
その他	2,840	6,454
営業外収益合計	33,192	38,286
営業外費用		
支払利息	3,547	3,562
売上割引	881	564
為替差損	904	1,460
営業外費用合計	5,332	5,587
経常利益	1,216,985	3,125,663
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	950	-
固定資産売却益	518	3,830
償却債権取立益	1,200	-
投資有価証券売却益	232	-
特別利益合計	2,901	3,830
特別損失		
固定資産除却損	7,568	3,941
固定資産売却損	42	148
減損損失	-	1,359
災害による損失	30,081	-
投資有価証券評価損	19,400	-
特別損失合計	57,092	5,448
税金等調整前四半期純利益	1,162,794	3,124,045
法人税等	454,110	1,282,341
少数株主損益調整前四半期純利益	708,683	1,841,703
少数株主利益	27,719	44,964
四半期純利益	680,964	1,796,739

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	708,683	1,841,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,581	23,220
為替換算調整勘定	26,475	41,506
その他の包括利益合計	4,894	64,727
四半期包括利益	713,578	1,906,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673,180	1,841,589
少数株主に係る四半期包括利益	40,398	64,841

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,162,794	3,124,045
減価償却費	129,438	127,916
貸倒引当金の増減額(は減少)	14,166	16,874
賞与引当金の増減額(は減少)	25,523	32,579
製品保証引当金の増減額(は減少)	36,329	36,015
退職給付引当金の増減額(は減少)	658	28,251
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	42,838	4,104
受取利息及び受取配当金	24,533	26,346
支払利息	3,547	3,562
償却債権取立益	1,200	-
ゴルフ会員権売却損益(は益)	950	-
固定資産売却損益(は益)	476	3,682
固定資産除却損	7,568	3,941
災害による損失	30,081	-
投資有価証券売却損益(は益)	232	-
投資有価証券評価損益(は益)	19,400	-
減損損失	-	1,359
売上債権の増減額(は増加)	190,231	2,318,569
たな卸資産の増減額(は増加)	319,920	602,448
その他の資産の増減額(は増加)	47,006	153,188
仕入債務の増減額(は減少)	197,248	2,627,061
その他の負債の増減額(は減少)	217,648	235,443
その他	17,320	52,697
小計	1,156,011	3,454,037
利息及び配当金の受取額	28,492	26,151
利息の支払額	5,916	6,042
法人税等の支払額	504,233	783,235
災害損失の支払額	2,739	20,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	671,614	2,670,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	144,047	21,370
有形固定資産の売却による収入	1,594	11,949
貸付金の回収による収入	414	1,029
定期預金の預入による支出	6,524,316	7,276,650
定期預金の払戻による収入	6,624,012	7,025,990
投資有価証券の取得による支出	5,231	5,398
投資有価証券の売却による収入	337	-
保険積立金の解約による収入	1,326	-
保険積立金の積立による支出	1,155	755
差入保証金の回収による収入	851	51
ゴルフ会員権の取得による支出	-	6,000
ゴルフ会員権償還及び売却による収入	3,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,214	271,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	21	940,791
配当金の支払額	133,668	156,393
少数株主への配当金の支払額	34,478	51,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,168	1,148,923

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,743	9,676
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	463,974	1,260,138
現金及び現金同等物の期首残高	7,740,143	10,512,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,204,118	11,772,482

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)																				
<p>1. 期末日満期手形の処理</p> <p>期末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。従って当連結会計年度の末日は、金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">164,031千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">116,969千円</td> </tr> </table> <p>2. 当座貸越契約及び貸出コミットメント</p> <p>当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">当座貸越限度額及び貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">1,300,000 千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">250,000 千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">1,050,000 千円</td> </tr> </table>	受取手形	164,031千円	支払手形	116,969千円	当座貸越限度額及び貸出コミットメントの総額	1,300,000 千円	借入実行残高	250,000 千円	差引額	1,050,000 千円	<p>1. 四半期連結会計期間末日満期手形の処理</p> <p>四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。従って当第2四半期連結会計期間末日は、金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、当第2四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">113,233千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">119,755千円</td> </tr> </table> <p>2. 当座貸越契約及び貸出コミットメント</p> <p>当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">当座貸越限度額及び貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">1,300,000 千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">250,000 千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">1,050,000 千円</td> </tr> </table>	受取手形	113,233千円	支払手形	119,755千円	当座貸越限度額及び貸出コミットメントの総額	1,300,000 千円	借入実行残高	250,000 千円	差引額	1,050,000 千円
受取手形	164,031千円																				
支払手形	116,969千円																				
当座貸越限度額及び貸出コミットメントの総額	1,300,000 千円																				
借入実行残高	250,000 千円																				
差引額	1,050,000 千円																				
受取手形	113,233千円																				
支払手形	119,755千円																				
当座貸越限度額及び貸出コミットメントの総額	1,300,000 千円																				
借入実行残高	250,000 千円																				
差引額	1,050,000 千円																				

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)																								
<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">製品保証引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">71,617千円</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">360,789千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">23,459 千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">19,498千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">12,500千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">5,701千円</td> </tr> </table>	製品保証引当金繰入額	71,617千円	給料手当	360,789千円	賞与引当金繰入額	23,459 千円	退職給付費用	19,498千円	役員退職慰労引当金繰入額	12,500千円	貸倒引当金繰入額	5,701千円	<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">製品保証引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">111,333千円</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">351,612千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">24,703 千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">18,460千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">12,700千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">16,038千円</td> </tr> </table>	製品保証引当金繰入額	111,333千円	給料手当	351,612千円	賞与引当金繰入額	24,703 千円	退職給付費用	18,460千円	役員退職慰労引当金繰入額	12,700千円	貸倒引当金繰入額	16,038千円
製品保証引当金繰入額	71,617千円																								
給料手当	360,789千円																								
賞与引当金繰入額	23,459 千円																								
退職給付費用	19,498千円																								
役員退職慰労引当金繰入額	12,500千円																								
貸倒引当金繰入額	5,701千円																								
製品保証引当金繰入額	111,333千円																								
給料手当	351,612千円																								
賞与引当金繰入額	24,703 千円																								
退職給付費用	18,460千円																								
役員退職慰労引当金繰入額	12,700千円																								
貸倒引当金繰入額	16,038千円																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)												
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">14,877,652千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">6,673,534千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">8,204,118千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	14,877,652千円	預入期間が3か月を超える定期預金	6,673,534千円	現金及び現金同等物	8,204,118千円	<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">19,098,937千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">7,326,455千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">11,772,482千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	19,098,937千円	預入期間が3か月を超える定期預金	7,326,455千円	現金及び現金同等物	11,772,482千円
現金及び預金勘定	14,877,652千円												
預入期間が3か月を超える定期預金	6,673,534千円												
現金及び現金同等物	8,204,118千円												
現金及び預金勘定	19,098,937千円												
預入期間が3か月を超える定期預金	7,326,455千円												
現金及び現金同等物	11,772,482千円												

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項
 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月30日 定時株主総会	普通株式	141,186,132	18	平成22年 12月31日	平成23年 3月31日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項
 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	156,873,080	20	平成23年 12月31日	平成24年 3月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

(自己株式の取得)

当社は、平成24年6月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第2四半期連結累計期間において普通株式631,700株を取得しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が940,601千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

当社グループの事業は、食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケース等の製造、販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間に係る貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載しておりません。

(有価証券関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	86円82銭	232円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	680,964	1,796,739
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	680,964	1,796,739
普通株式の期中平均株式数(株)	7,843,659	7,738,337

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 7日

中野冷機株式会社
取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 芳幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新井 達哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中野冷機株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中野冷機株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。